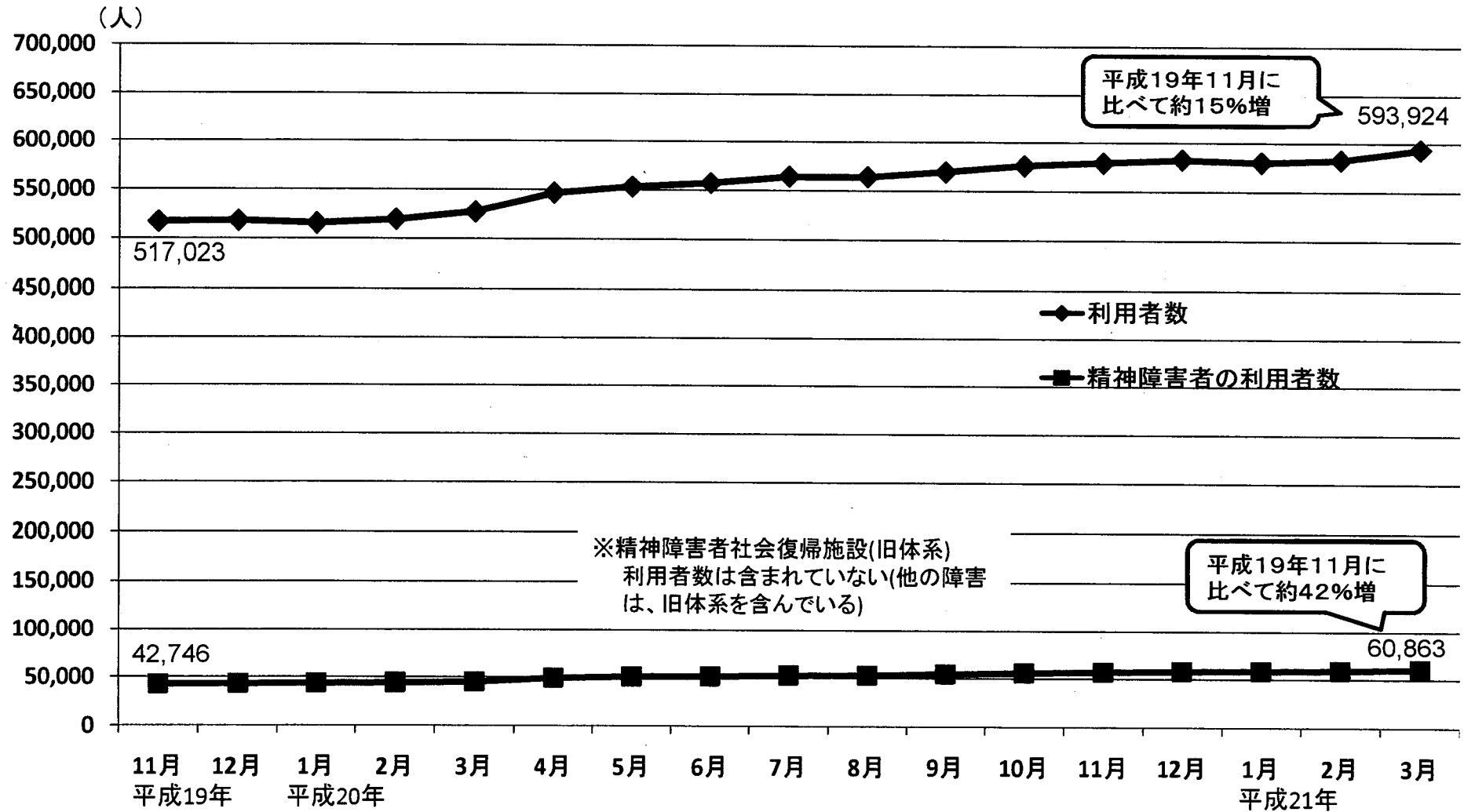


## ④一(4) 福祉サービスの確保について

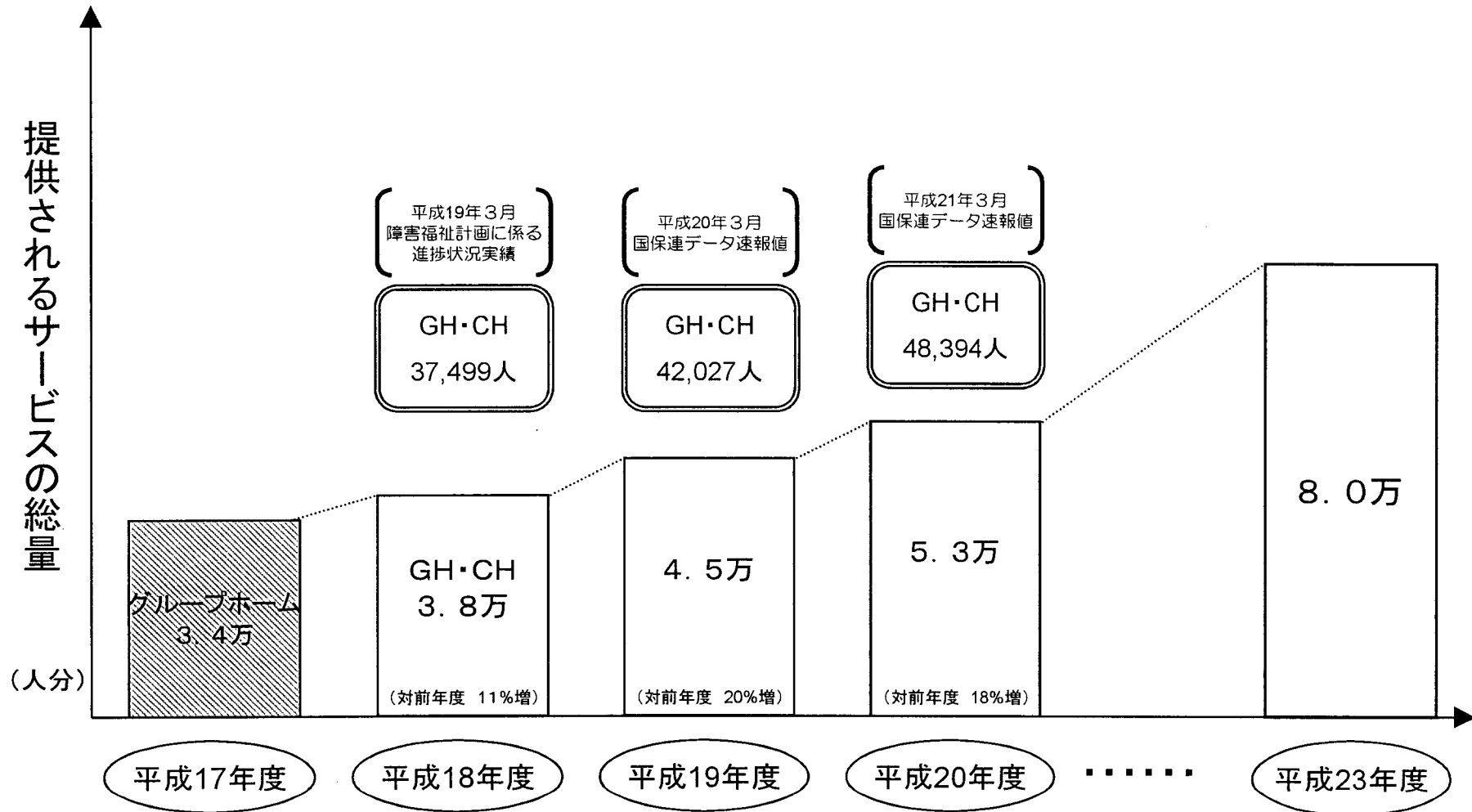
# 障害福祉サービス利用者数に占める精神障害者の推移 (平成19年11月～平成21年3月の推移:国保連データ)



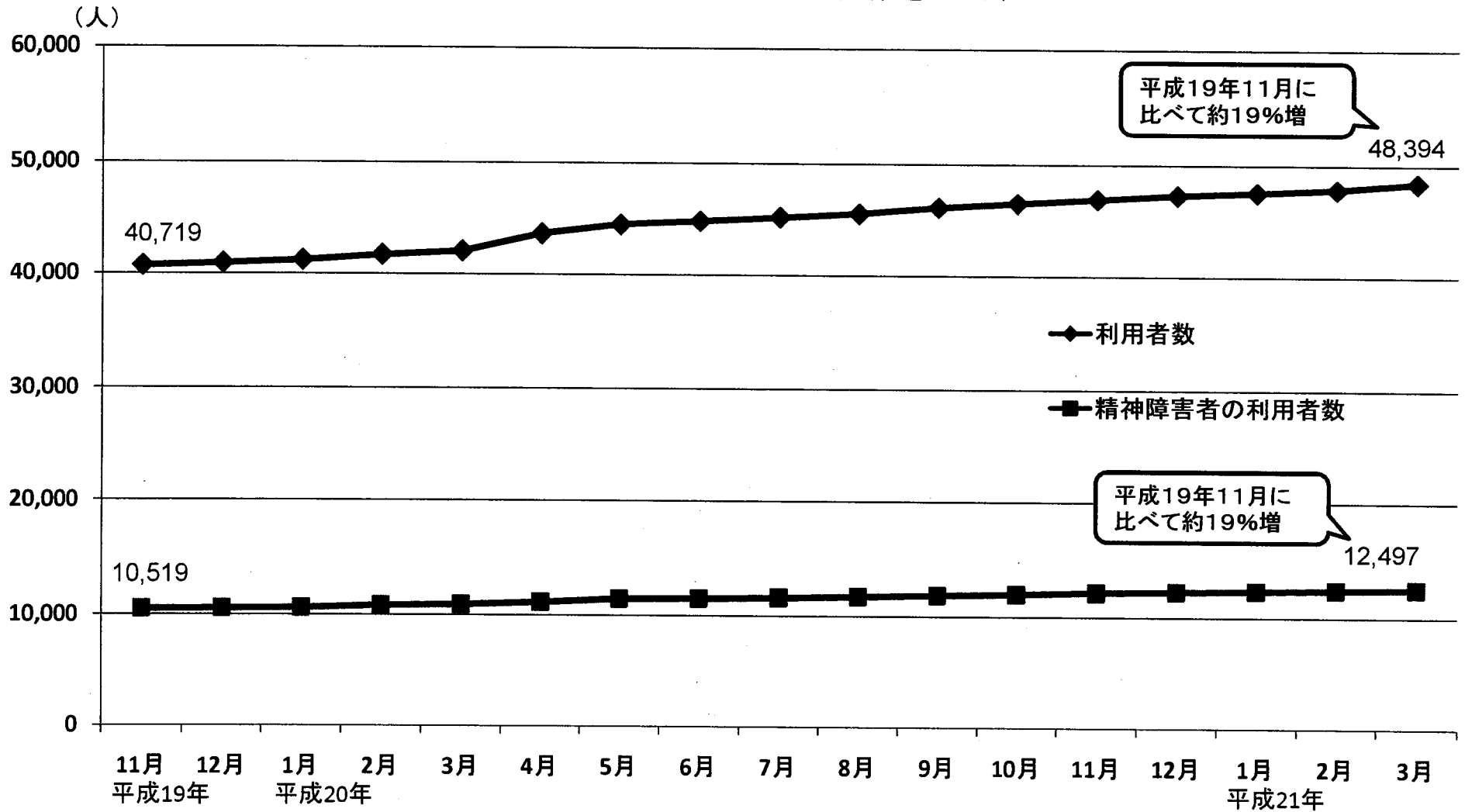
※複数サービスを利用している者は、各々カウントしている。

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
精神障害者の利用者数	42,746	43,135	43,581	44,474	45,205	49,427	50,925	51,746	52,811	53,279	54,611	56,366	57,306	58,382	58,810	59,489	60,863
利用者数	517,023	518,064	515,672	519,440	527,470	546,965	553,514	557,606	564,488	564,621	569,926	576,695	579,753	583,097	580,568	583,252	593,924
精神障害者の占める割合	8.3%	8.3%	8.5%	8.6%	8.6%	9.0%	9.2%	9.3%	9.4%	9.4%	9.6%	9.8%	9.9%	10.0%	10.1%	10.2%	10.2%

# 障害福祉サービス見込量の推移（居住系サービス）



## グループホーム・ケアホーム利用者数に占める精神障害者の推移 (平成19年11月～平成21年3月国保連データ)



	11月 平成19年	12月	1月 平成20年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 平成21年
精神障害者の利用者数	10,519	10,559	10,604	10,806	10,916	11,134	11,427	11,490	11,595	11,711	11,840	11,986	12,126	12,251	12,330	12,408	12,497
利用者数	40,719	40,926	41,205	41,680	42,027	43,594	44,434	44,750	45,118	45,482	46,080	46,485	46,874	47,257	47,529	47,806	48,394
精神障害者の占める割合	25.8%	25.8%	25.7%	25.9%	26.0%	25.5%	25.7%	25.7%	25.7%	25.7%	25.7%	25.8%	25.9%	25.9%	25.9%	26.0%	25.8%

## 居住系サービスの推移(精神障害者)

### 障害者自立支援法施行後

#### 障害者自立支援法施行前※1

	精神障害者の利用者数
精神障害者福祉ホームA型	1,021
精神障害者福祉ホームB型	1,943
精神障害者入所授産施設	685
精神障害者生活訓練施設	4,400
共同生活援助(グループホーム)	4,858
<b>合計</b>	<b>12,907</b>

障害者自立支援法の施行

新体系	精神障害者の利用者数
<b>個別給付※2</b>	
共同生活援助(グループホーム)	8,985
共同生活介護(ケアホーム)	3,512
宿泊型自立訓練	69
施設入所支援	195
短期滞在加算(1か月の延人数)	約255 (7,922)
精神障害者退院支援施設(1か月の延人数)	約80 (2,475)
<b>地域生活支援事業</b>	
福祉ホーム※3	360
<b>旧体系(経過措置)※4</b>	
福祉ホームB型	1,713
精神障害者入所授産施設	366
精神障害者生活訓練施設	3,457
<b>合計</b>	<b>約18,992</b>

2年6カ月で約1.5倍(6,000人分の純増)

※1 平成18年10月1日現在の「社会福祉施設等調査報告」による。

※2 平成21年3月の国保連データ速報による。短期滞在加算及び精神障害者退院支援施設は1ヶ月の延べ利用者数を31で除した1日あたりの利用者数。

※3 平成18年10月1日現在の「社会福祉施設等調査報告」における精神障害者福祉ホームA型の利用者数に福祉ホームへの移行率(35.3%;平成20年4月1日現在、障害福祉課調べ)を掛けて算出。

※4 平成18年10月1日現在の「社会福祉施設等調査報告」における1施設あたりの平均利用者数に、平成21年4月現在の国庫補助対象施設数を掛けて算出。

## 日中活動系サービス、在宅サービスの推移(精神障害者)

障害者自立支援法施行前

施設名 ※1	精神障害者の利用者数
精神障害者入所授産施設	685
精神障害者通所授産施設	7,698
精神障害者小規模通所授産施設	9,112
精神障害者福祉工場	411
サービス名 ※2	精神障害者の利用者数
ホームヘルプサービス	11,983
ショートステイ(居室数)	355
<b>合計</b>	<b>30,244</b>

障害者自立支援法の施行

障害者自立支援法施行後

施設名 ※1	精神障害者の利用者数
<b>日中活動系サービス(新体系) ※3</b>	
療養介護	1
生活介護	762
自立訓練(機能訓練)	14
自立訓練(生活訓練)	2,427
就労移行支援	3,717
就労継続支援A型	1,331
就労継続支援B型	16,301
<b>訪問等サービス(新体系) ※3</b>	
居宅介護	22,444
行動援護	12
重度訪問介護	10
短期入所	601
<b>精神障害者社会復帰施設(経過措置) ※4</b>	
精神障害者入所授産施設	402
精神障害者通所授産施設	3,887
精神障害者小規模通所授産施設	2,915
精神障害者福祉工場	130
<b>合計</b>	<b>54,954</b>

**2年6カ月で約1.8倍(約2.5万人分の純増)**

※1 平成18年10月1日現在の「社会福祉施設等調査報告」による。

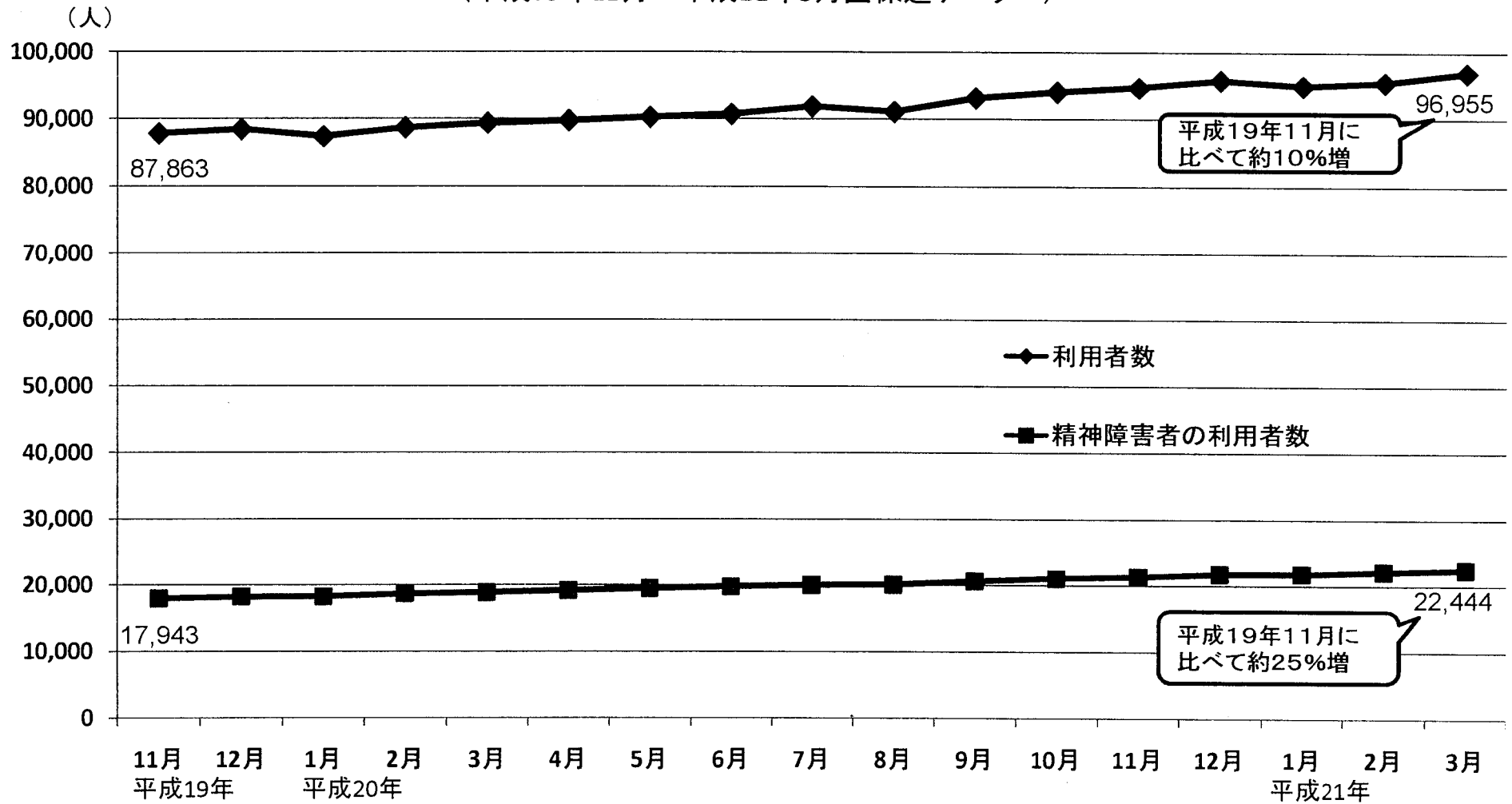
※2 平成17年4月 精神保健福祉課(当時)調による。

※3 平成21年3月の国保連データ速報による。

※4 平成18年10月1日現在の「社会福祉施設等調査報告」における1施設あたりの平均利用者数に、平成21年4月現在の国庫補助対象施設数を掛けて算出。

# 居宅介護利用者数に占める精神障害者の推移

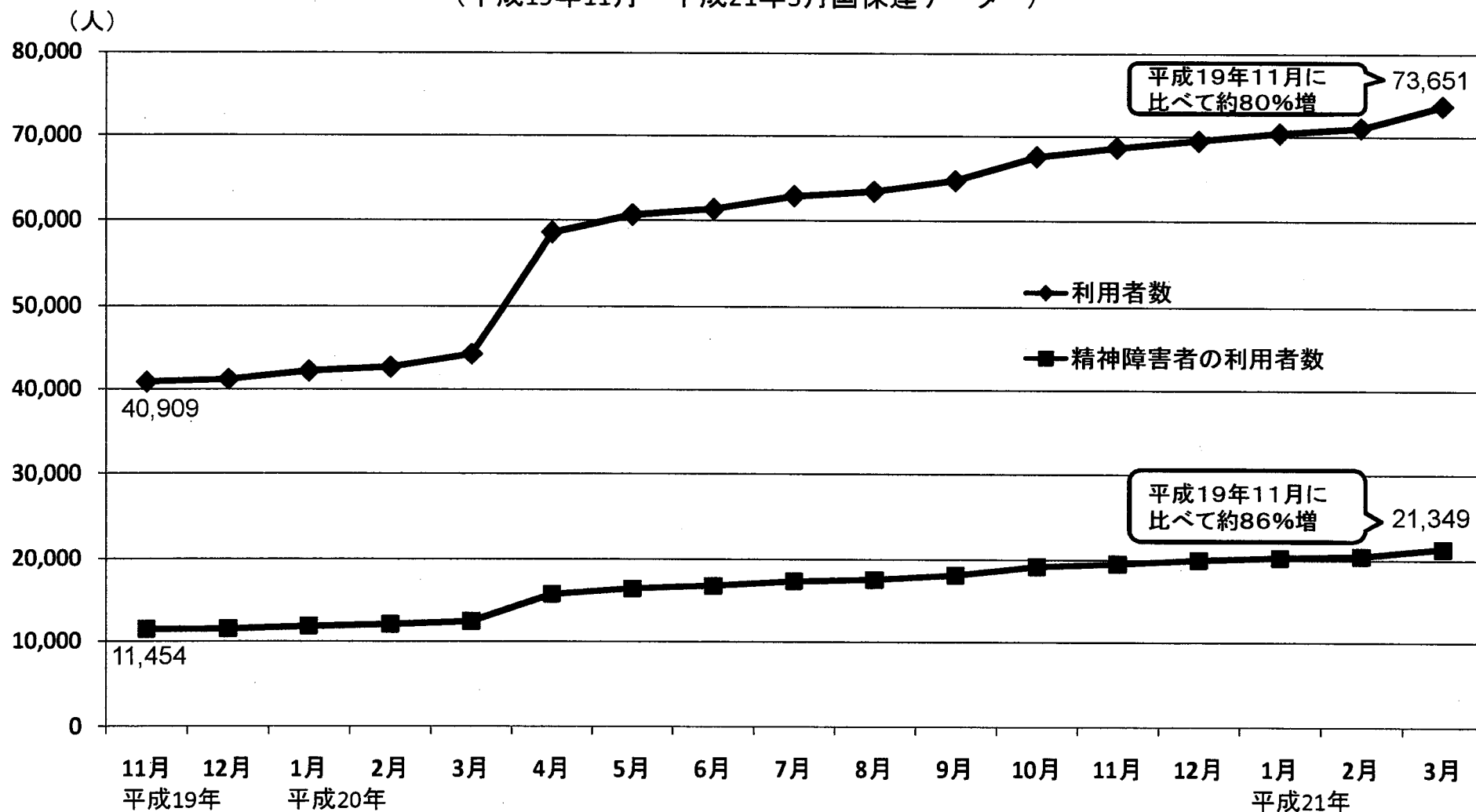
(平成19年11月～平成21年3月国保連データ)



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
精神障害者の利用者数	17,943	18,209	18,231	18,665	18,837	19,133	19,492	19,752	20,008	20,074	20,651	21,036	21,335	21,742	21,780	22,117	22,444
利用者数	87,863	88,479	87,420	88,680	89,379	89,755	90,314	90,741	91,906	91,106	93,194	94,101	94,730	95,813	94,983	95,537	96,955
精神障害者の占める割合	20.4%	20.6%	20.9%	21.0%	21.1%	21.3%	21.6%	21.8%	21.8%	22.0%	22.2%	22.4%	22.5%	22.7%	22.9%	23.1%	23.1%

# 就労系サービス利用者数に占める精神障害者の推移

(平成19年11月～平成21年3月国保連データ)

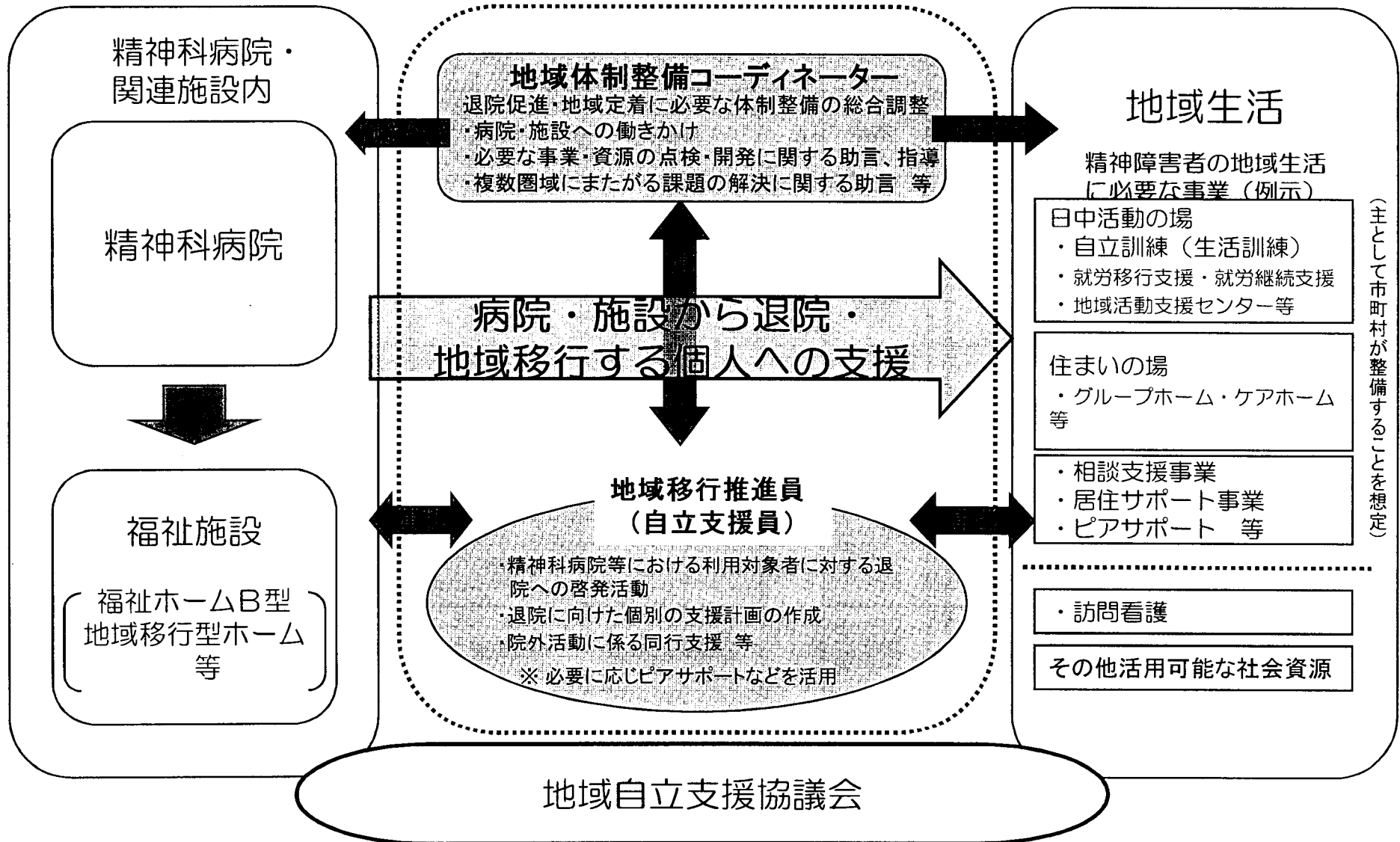


	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
精神障害者の利用者数	11,454	11,510	11,812	12,039	12,405	15,705	16,391	16,748	17,308	17,508	18,081	19,158	19,522	19,962	20,271	20,477	21,349
利用者数	40,909	41,216	42,204	42,702	44,260	58,604	60,651	61,329	62,839	63,427	64,720	67,578	68,645	69,500	70,407	71,051	73,651
精神障害者の占める割合	28.0%	27.9%	28.0%	28.2%	28.0%	26.8%	27.0%	27.3%	27.5%	27.6%	27.9%	28.3%	28.4%	28.7%	28.8%	28.8%	29.0%



# 精神障害者地域移行支援特別対策事業（17億円）

事業の概要



# 精神障害者地域移行支援特別対策事業の実績

平成21年6月末現在

	実施自治体数	全圏域数	実施圏域数	実施圏域数 ／全圏域数	事業対象者数(人)	退院者数(人)
平成15年度	16 (含指定都市1)	—	—	—	226	72
平成16年度	28 (含指定都市3)	—	—	—	478	149
平成17年度	29 (含指定都市5)	—	—	—	612	258
平成18年度	26都道府県	385	148	38.4%	786	261
平成19年度	42都道府県	389	236	60.7%	1,508	544
平成20年度	45都道府県	386	295	76.4%	2,021	745
平成21年度	47都道府県	389	337	86.6%	—	—

※平成15年度から平成17年度まではモデル事業、平成18年度～平成19年度までは、精神障害者退院促進支援事業として実施。

※退院者数については、当該年度内に退院した者の数であり、年度を越えて退院した者の数は、含まれていない。

※平成21年度は実施予定も含む。

## 検討(4)

# 居住系サービス等の確保についての考え方

- 精神障害者に対する障害福祉サービス量は平成19年11月と比べると約4割増加し、全サービス利用者延べ数に占める精神障害者の割合も平成19年11月の8.3%から平成21年3月には10.2%に上昇している。
- 特に、居住系サービスについてみると、法施行後の約2年半の間で、精神障害者の利用者数が、約1.5倍に増加(旧体系サービスからの移行分を差し引いて約6000人分の純増)している。
- 居住系サービス利用者に占める精神障害者の割合は上昇傾向にあるが、仮にこれを26%で一定とすると、障害福祉計画における居住系サービスの整備目標(合計:8.0万人分 平成20年度末比:3.2万人分増)が達成された場合、精神障害者の居住系サービス利用者数は、平成20年度末よりも約8000~8500人程度増加すると見込まれる。
- 今後、新たな目標値に基づいて統合失調症患者の地域生活への移行を更に進めていくために、障害福祉計画に基づく障害福祉サービス見込量についても、その上乘せについて検討を行うとともに、計画的な整備を一層進めていくべきではないか。
- また、高齢精神障害者については、現にその多くがADLやIADLの支援を要する状況であることを踏まえて、適切な生活の場を確保することが必要ではないか。



## ⑤ 目標設定のあり方について

# 精神保健福祉施策の改革ビジョン(平成16年9月)における目標値

基本方針において、「受け入れ条件が整えば退院可能な者約7万人については、全体的に見れば、入院患者全体の動態と同様の動きをしており、精神病床の機能分化・地域生活支援体制の強化、立ち後れた精神保健医療福祉体系の再編と基盤強化を全体的に進めることにより、10年後の解消を図るものである。」とされており、その上で、以下の達成目標が掲げられている。

## ① 国民意識変革の達成目標

- 精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気であることについての認知度を90%以上

(考え方)

- 精神疾患を正しく理解し、態度を変え行動するという変化が起きるよう精神疾患を自分自身の問題として考える者の増加を促す。

## ② 精神保健医療福祉体系の再編の達成目標

- 各都道府県の平均残存率(1年未満群)を24%以下
- 各都道府県の退院率(1年以上群)を29%以上

※ この目標の達成により、2015年には約7万床相当の病床数の減少が促される。

(考え方)

- 新規に入院する患者については、入院中の処遇の改善や患者のQOL(生活の質)の向上を図りつつ、できる限り1年以内に速やかに退院できるよう良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制整備を促す。
- 既に1年以上入院している患者については、本人の病状や意向に応じて、医療(社会復帰リハビリテーション等)と地域生活支援体制の協働の下、段階的、計画的に地域生活への移行を促す。

## 国民意識の変革の達成目標とその進捗

### 達成目標

精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気であることについての認知度を90%以上とする。

### 進捗

#### 「こころのバリアフリー宣言」の内容に関わる調査結果(H18年)

- 「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合 ※( )内は、うち「そう思う」と回答した者の割合
- 「こころの健康」への関心; 82.1% (35.6%)
  - 精神疾患を自分の問題として考えている; 42.2% (13.2%)
  - ストレスを減らす生活を心がけることが必要である; 94.5% (66.8%)
  - こころの不調に早く気づくことが大事である; 96.2% (73.2%)
  - 精神疾患は早期の治療や支援で多くは改善する; 91.2% (54.7%)
  - 精神疾患は誰もがかかりうる病気である; 82.4% (46.4%)

平成18年度厚生労働科学研究「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」  
主任研究者: 竹島正

#### (参考) (H9年)

- 激しく変化する現代社会では誰でも精神障害者になる可能性がある;  
「そう思う」と回答した割合 51.8%

(平成9年 全国精神障害者家族会連合会) 46

## 精神疾患に対する国民の理解

### 調査方法

対象;人口1,000万人間隔の自治体5ヶ所の20~70歳の地域住民計2,000人

方法;統合失調症、大うつ病性障害、広汎性発達障害、アルコール依存症、糖尿病の事例のうちの1種類について、その病名を回答するよう依頼

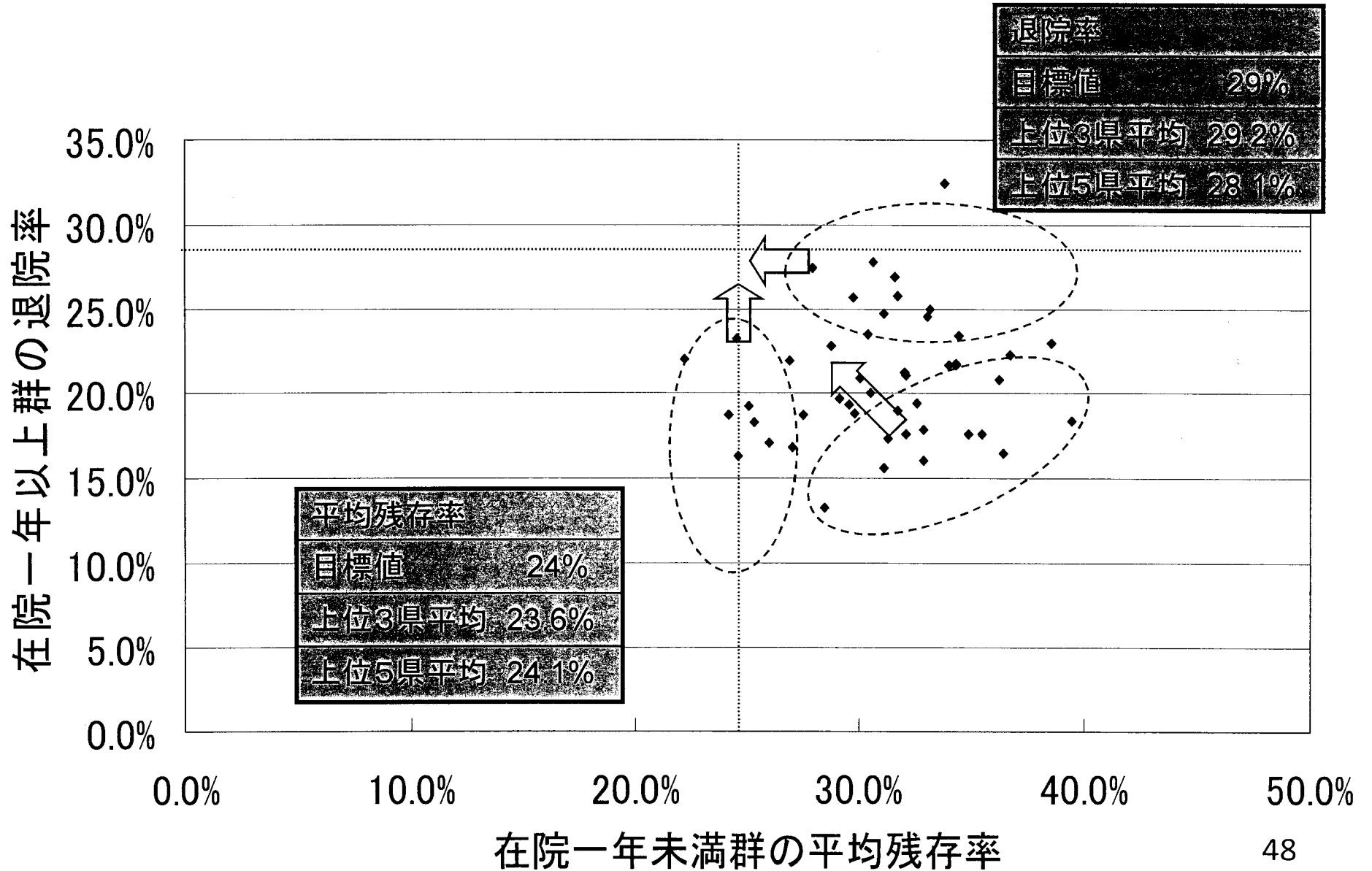
### 結果

対象の属性;男女:各1,000人、年齢:10歳毎の各年齢においてそれぞれ400人

事例 \ 回答	統合失調症	うつ病	自閉症	アルコール依存症	糖尿病	こころの病気	からだの病気	ストレス
統合失調症	4.8%	38.6%	1.8%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	14.0%
大うつ病性障害	1.4%	58.6%	0.2%	0.0%	0.2%	15.4%	0.8%	17.4%
広汎性発達障害	0.4%	0.4%	45.8%	0.2%	0.0%	11.4%	0.2%	3.6%
アルコール依存症	0.0%	1.2%	0.0%	85.0%	0.2%	4.2%	0.0%	7.6%
糖尿病	0.1%	0.1%	0.0%	0.4%	87.5%	0.1%	1.2%	1.2%

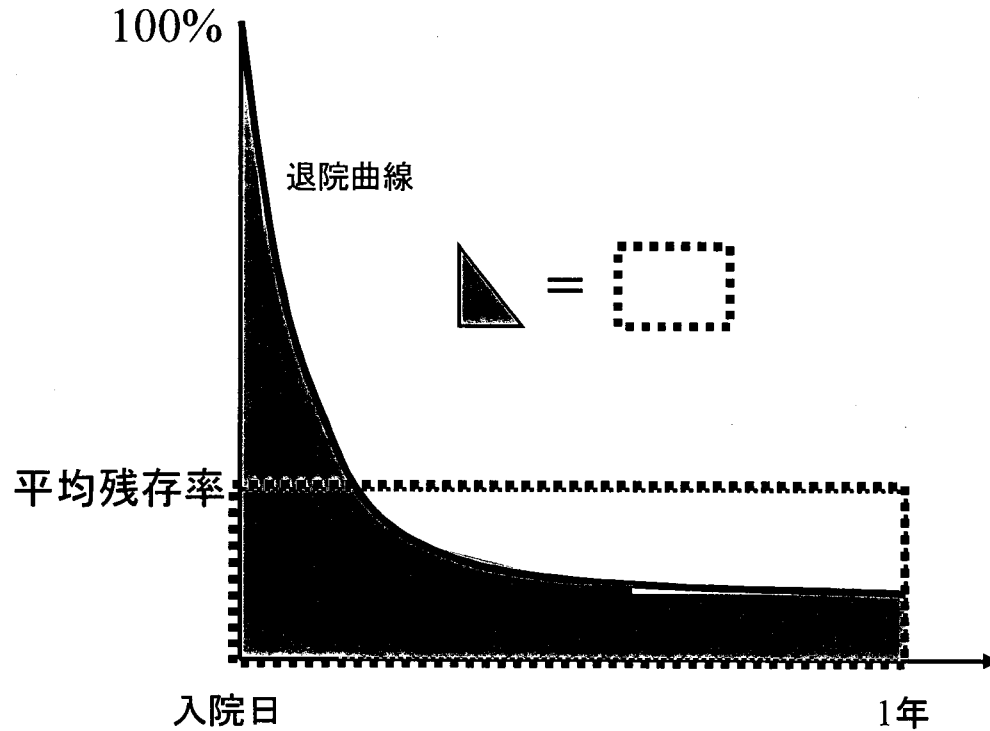


# 設定時の各都道府県の平均残存率、退院率



(参考)

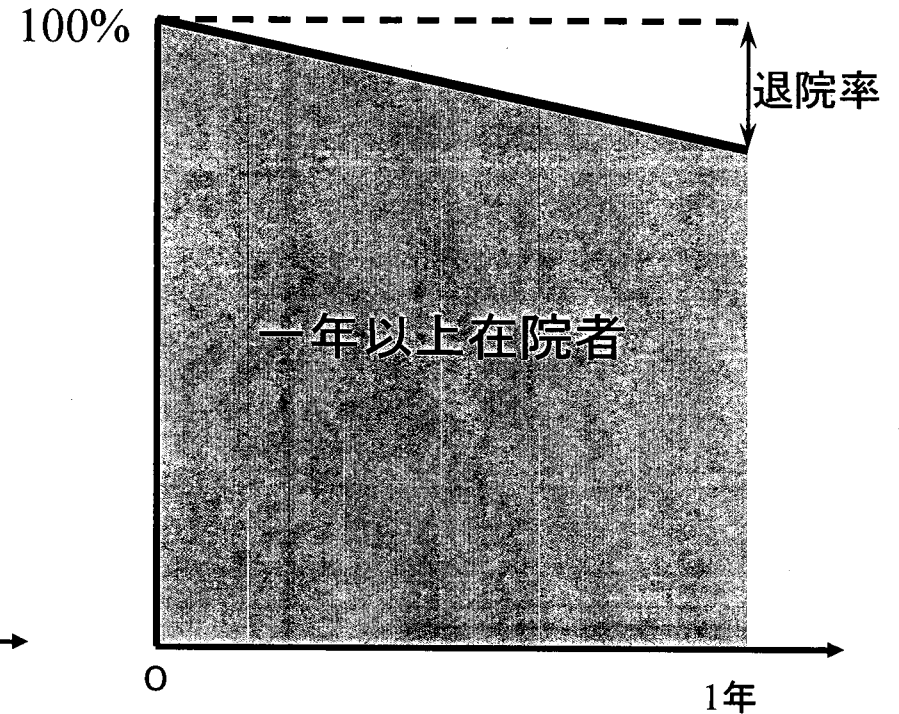
## 平均残存率(一年未満群)



1年以内の退院(残存)曲線が囲む面積と同じとなるよう、各月の残存率を平均したもの。

平均残存率に毎年の新規入院患者数を乗じて得た数は、1年以内入院患者にかかる必要病床数となる。

## 退院率(一年以上群)

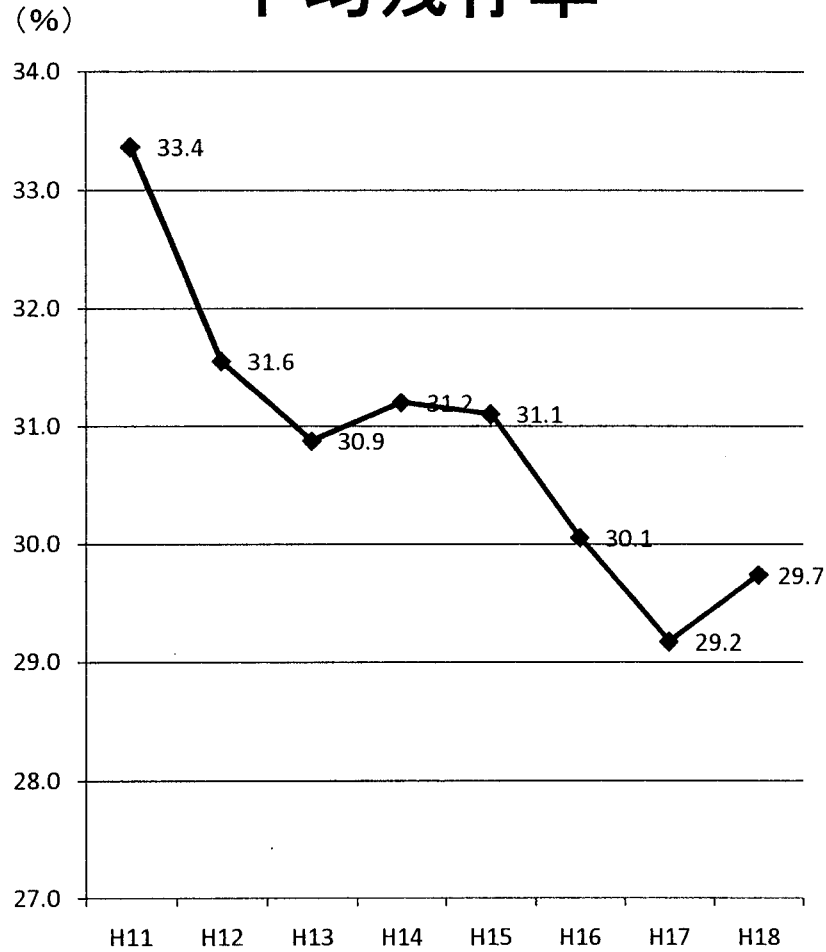


1年以上の在院患者から退院する者の数を1年以上の在院患者数で除したもの。

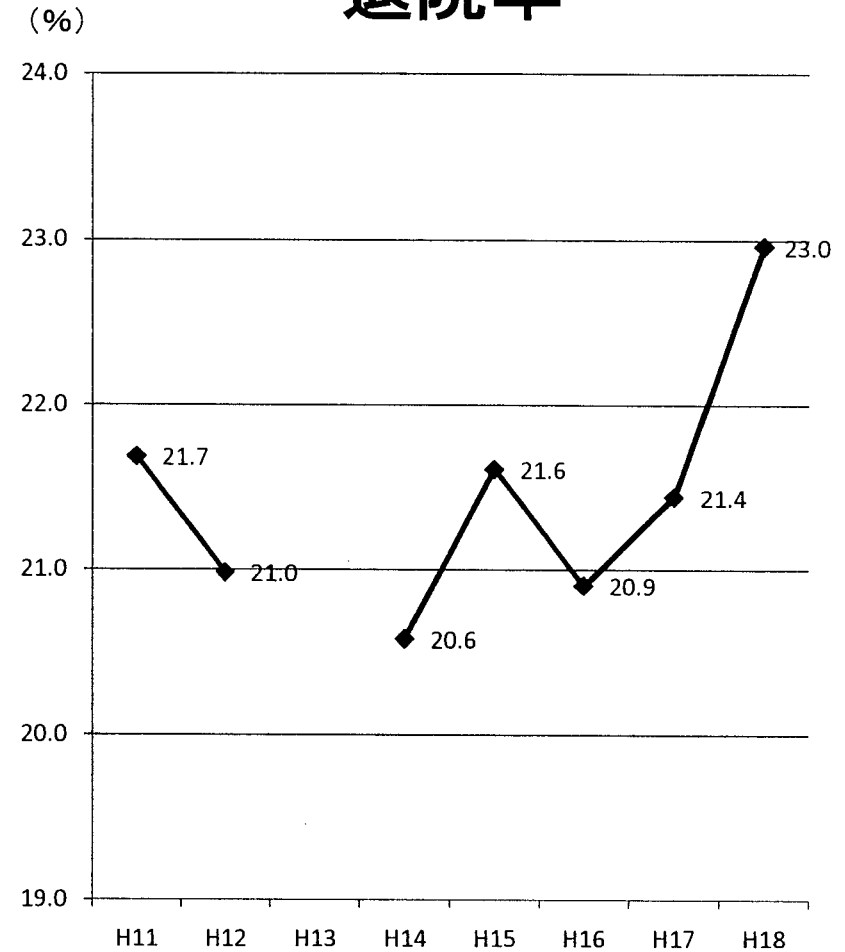
退院率に1年以上の在院患者数を乗じて得た数は、1年以上の在院患者からの毎年の退院数となる。

# 平均残存率・退院率の推移

## 平均残存率



## 退院率



注:平成13年のデータの欠落は、調査方法の変更によるもの(毎年の調査において、H13までは前年のデータを収集していたものを、H14年から当該年のデータを収集するよう変更したため)